

# 床構造の考察

## NLT(Nail-Laminated Timber)の床

釘や木ネジでパネル状に組む木の積層材。

ここでは製材を薄くイカダ状に並べて床とした。**段差のある薄いスラブ**が化粧となり、**インテリアに開放性と連続性**を生むよう意図している。

## NLTの社会的意義

木材利用を推進する施策の中、木肌を隠さず利用する方法としてCLTは有効と考える。しかし、取り扱える工場に限りがあり、材料も制限される事から小規模住宅での利用にはコストや搬入経路に課題も残る。

NLTは釘や木ネジを用い、**木材を現場でパネル化する**。胴差との取り合いは一般流通の金物で納まるので、町の工務店での施工を可能とする。安価で特殊な技術に頼らず大空間ができる事から、**高い汎用性**が期待できる。また、設計者判断で材料選択をしているので、今後は地場産材の積極的な活用を行うことができる。より**サステナブル**に、より木の**魅力を保ったまま地産地消**の木材利用を目指している。

	CLT	NLT
大断面の構成	可能	可能
施工	特定の認可を受けた業者と工場のみ	地元業者による <b>現場施工</b> が可能
材質	特定産地材のみ	<b>地場産材</b> の使用が可能
価格	高価	<b>安価</b>
耐火構造	あり	なし

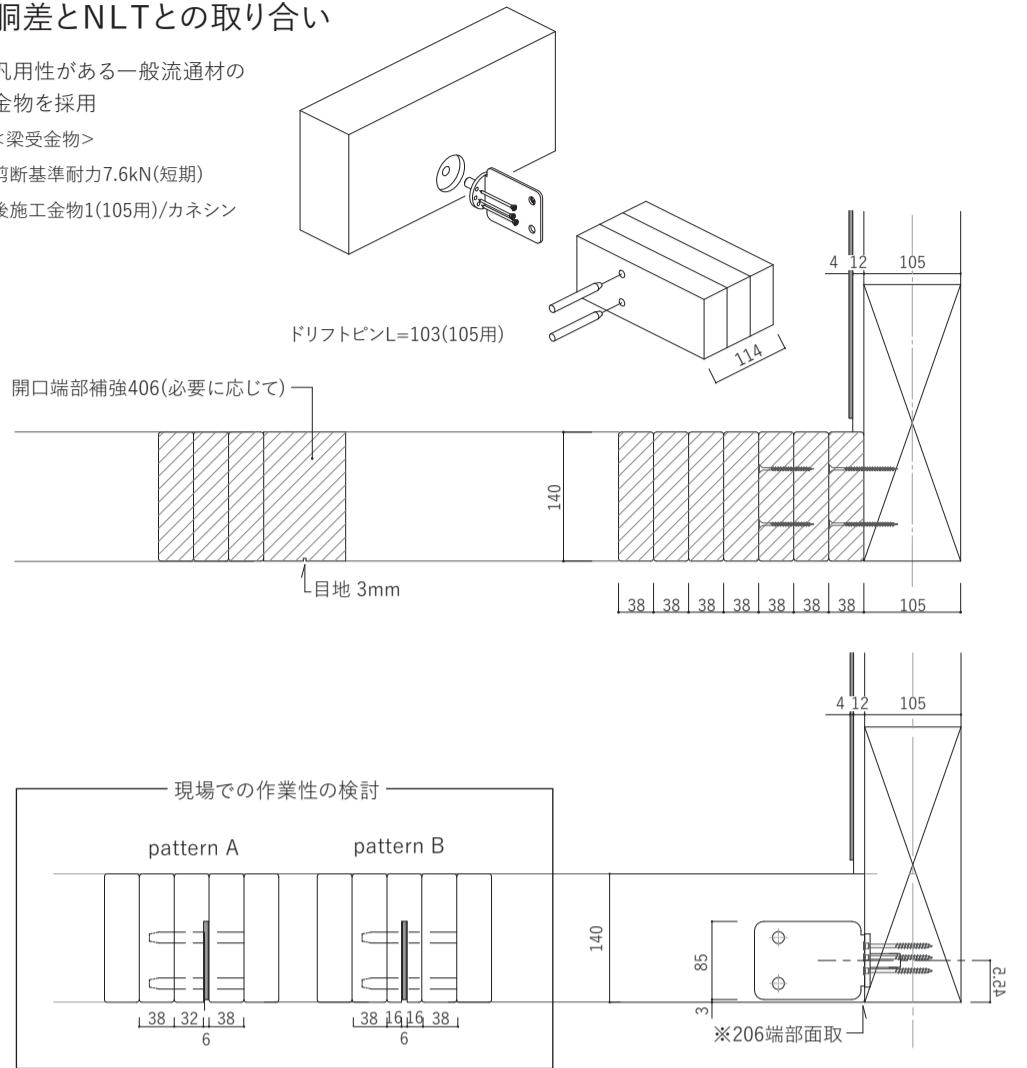
## 胴差とNLTとの取り合い

汎用性がある一般流通材の金物を採用

<梁受金物>

剪断基準耐力7.6kN(短期)

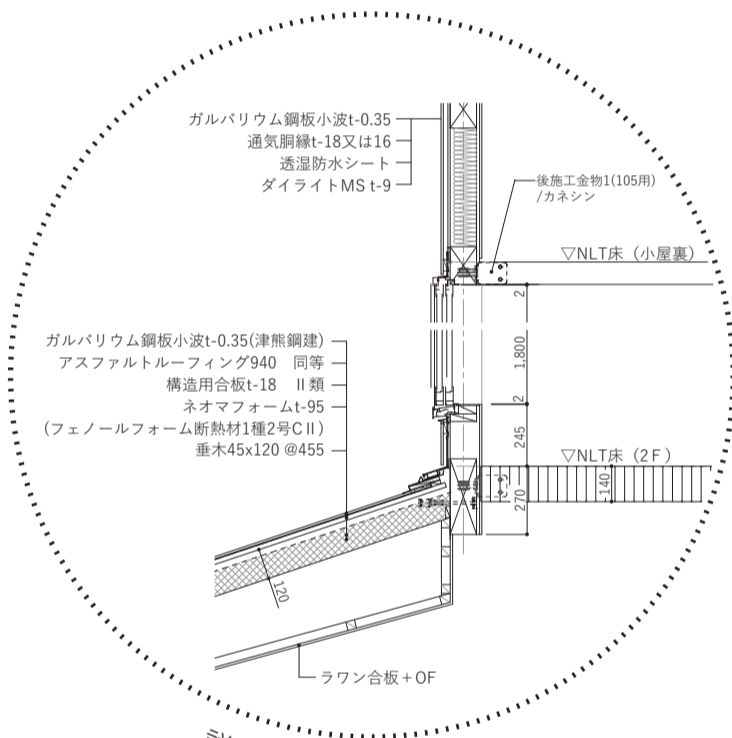
後施工金物1(105用)/カネシン



接合部の金物



仕口の様子



詳細図

